

あらゆるビジネスシーンで活躍の会員の皆様をご紹介します。

# ビジネス×インターネットビュ

## 華陽技研工業株式会社

代表取締役会長

松波 廣三さん

日々進化する技術に熱中

昭和29年、家業である農業を継ぎ、養豚にも手を広げたものの、自然と市場には抗えないことに不安を感じ、叔父の経営する写真製版の仕事に就きました。知識も経験もありませんでした。工夫や発想により革新的な技術を生み出すことができるその仕事にのめり込んでいきました。後に写真製版の銘板事業を独立させ創業、当社の金属ネームプレート加工技術は、この写真製版の技術が礎になっているといえます。

創業から今まで47年間お客様のご要望以上に応えることを信念として、より良い品質、提案を目指してきました。これが大手企業とのビジネスにつながり、重電機（発電機や変圧器等）のネームプレートや原子力発電所の開発に関わる何千枚もの金属プレートを生産し、事業を拡大していきました。

評を博したことがあります。精巧なデザインを施したクリスマス商品の装飾品は注目度の高い商品としてドイツや米国メディアにも取り上げられました。常にフレッシュなアイデアを追い求め挑戦し、数多く失敗をしてきたからこそ現在の技術があると思います。

### 価値を創造し世界の表舞台へ

凹から凸へ逆転の発想

当初は重電機やモーターの銘板製造が主でしたが、時代の変化と共に装飾的な製品（エンブレム）製造へとシフトし、金・銀・銅で精巧に装飾した付加価値の高い商品づくりへと変えていきました。

私はあるとき「逆転の発想が変化をもたらす」という内容の講演を聴き、感銘を受けたことがきっかけで「メーターテック」という技術を開発し特許を取得したのです。「メーターテック」とは、従来凹状に加工していた金属の表面装飾を凸状に密着させるもので、現在その特許を活かした製品（ゴルフのアイアンヘッドやカメラのレンズ枠に接合されているエンブレム）は国内シェアの8割を占めています。また私は何事にも好奇心旺盛であるため、新たな商品開発を何度も試みました。金を如何に美しく魅せるか探求した結果、純金加工したパセリを商品化し、ドイツの博覧会で好



昨年、新たに環境製品事業を創設し、電動バイクの販売を開始。中国最大手メーカーからOEM輸入している

### 日本の中小企業が世界に羽ばたく時

製造業を取りまく環境は一段と厳しさを増し、大企業がさらなる低価格を下請け企業に求める様相を呈してきています。しかしそんな中でも、当社が持つ様々な技術を活用して成長できる分野を模索し、今後も時代に合わせ柔軟に対応していきたいと考えています。

日本の中小企業が持つ技術をオリジナル製品に活かすことができれば、大手企業に依存しなくても、独自で世界を相手にビジネスができるようになると考えます。私たち日本の中小企業が世界の表舞台に立つ日を目指し、新たなオリジナル製品の開発に挑戦し続けていきたいと思えます。

### 趣味

海外旅行

海外で営業に奔走していたこともあり、30ヶ国以上に友人がいます。人との出会いに感謝し、大切にしています。



## 今月の会社データ 華陽技研工業株式会社

住所 岐阜市市橋4-9-5  
電話番号 058-273-8877  
事業内容 ネームプレート、メタルステッカー等  
創業 昭和38年  
金属製品製造業